

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年12月25日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	21	課題区分	A		
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	
事業名	大北地域の快適な住まいを考えるセミナー開催事業			所属	環境課
				電話	0261-23-6563
				E-mail	kitachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	一年の寒暖差が激しい大北地域において快適で健康な生活を営むためには、冬季は住宅の熱を外に逃さず、夏季は外からの熱の侵入を防いで、住宅の断熱性を高めることが重要。地域住民等に健康で快適な住まいを学ぶ機会を提供し、断熱性の高い環境に配慮した住宅の普及を図る。			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県の死亡者数は冬季に多く、夏季は少ない。(がんは年間を通じて死亡者数の偏りはないが、心疾患や脳血管疾患は冬季に多い) ・大北地域の冬季の寒い屋内環境は、ヒートショックによる高血圧、心疾患などの健康被害が懸念される。 ・老朽箇所改修や耐震リフォームに比べ、断熱性を高めるリフォームの意識は普及していない。 			
	内容 (変更後の内容)	(1) 気温や三大死因別死亡率などの状況 (2) 基調講演 ① 市立大町総合病院 青木俊樹副院長・脳神経外科部長の講演 「寒さ・暑さと脳卒中 住宅は大切な環境因子」 ② ホクシンハウス(長野市)技術開発室 木村大樹室長による「断熱体感BOX」を使用して、窓の種類で変化する結露の発生の違いを講演及び実演 (3) 意見交換			
	事業期間	平成30年10月		～	平成30年10月
成果目標 (成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者数:50名以上 (対象:地域住民、建築士会会員、民間事業者、市町村職員他) 				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(変更)額	備考	
	講師報償金	基調講演講師謝金	111,370		
	講師旅費	基調講演講師旅費	6,080		
	需用費チラシ、資料印刷用	コピー用紙代(2,500枚)	1,447	(A4単価契約済み1,340円)	
	使用料及び賃借料	コピー使用料(2,500枚)	2,700	(単価契約済み1枚/1円+税)	
合 計			121,597		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、健康、建築分野に関連するため地域振興局、保健福祉事務所、建設事務所との共催により昨年度に続き2回目の開催。 ・健康福祉、建築関係者へのチラシ配布、地元メディア(地元紙、有線放送等)での開催告知、市町村の協力による回覧板や各種会議での住民への幅広い参加呼びかけを実施。 ・昨年の参加者からの要望を踏まえ、今年度は住宅事業者の実演により、具体的に断熱住宅の優秀性を示した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は目標を上回る約100名を確保。多くの地域住民へヒートショックによる健康被害や「県環境配慮型住宅助成金制度」の周知を図ることができた。 ・断熱住宅の効果を参加者が実際に目にすることで、効果的な啓発を行うことができた。 ・参加者アンケートでは「健康と室内温度との関係性がよく理解できた」「今後も本事業の継続を望む」など、好意的な回答が数多く寄せられた。 ・長野朝日放送が、当該事業のTV番組を制作し、来年1月に放送することとなった。 		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で快適な住まいの普及を図るとともに、省エネルギー化を促進するため、学ぶ機会を継続して提供する。開催内容等については共催の保健福祉事務所及び建設事務所と検討する。 				